

平成 28 年度「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）に おける八阪中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、大阪市教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）を実施いたしました。この調査の目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることです。

学習指導要領における中学校英語の目標は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」と示されております。本調査で測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的
 - (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
 - (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立全中学校 生徒 1～3年生

※本校では

3年生	128人	平成28年10月31日(月)実施
2年生	123人	平成28年10月31日(月)実施
1年生	118人	平成28年11月4日(金)実施

3 内 容

学年	英検 IBA の種類	英検（目安）	テスト内容		満点 スコア
			リーディング問題	リスニング問題	
3年	テスト C	英検準2～5級レベル	35 題	30 題	1100 点
2年	テスト D	英検3～5級レベル	35 題	30 題	1000 点
1年	テスト E	英検4級・5級レベル	35 題	25 題	800 点

*大阪市教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

平成 28 年度 「大阪市英語力調査」(「英検 IBA」) の結果の概要と今後の取組 八阪中学校

■ 調査内容

学年	英検 (目安)	テスト内容		満点 スコア
		リーディング問題	リスニング問題	
3 年	英検準 2 級～5 級レベル	35 題	30 題	1100 点
2 年	英検 3 級～5 級レベル	35 題	30 題	1000 点
1 年	英検 4 級・5 級レベル	35 題	25 題	800 点

■ 調査結果

【「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の値は分野別平均
正答率(%)】

3 年	学校平均スコア (点/1100 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 3 級レベル以上の割合 (%)
	770.4 点	64.5%	65.5%	59.2%	60.1%
	市平均スコア (点/1100 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 3 級レベル以上の割合 (%)
	723.9 点	54.0%	56.6%	51.1%	38.9%
2 年	学校平均スコア (点/1000 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 4 級レベル以上の割合 (%)
	689.0 点	71.4%	65.1%	68.7%	77.2%
	市平均スコア (点/1000 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 4 級レベル以上の割合 (%)
	650.6 点	64.1%	58.4%	61.8%	61.4%
1 年	学校平均スコア (点/800 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 5 級レベル以上の割合 (%)
	527.7 点	67.5%	53.2%	65.5%	83.1%
	市平均スコア (点/800 点)	語い・熟語・文法	読 解	リスニング	英検 5 級レベル以上の割合 (%)
	509.2 点	63.7%	50.0%	61.6%	80.6%

■ 結果の概要と今後の取組について

学年	結果の概要と今後の取組
3 年	すべての領域で大阪市平均よりも平均回答率が上回っており、3 年間語い・文法的事項等の基礎・基本を踏まえた教科指導の結果である。また、英検 3 級レベル以上の割合が大阪市平均より 20% 以上上回り、英語力が身につけている結果となった。 今後はリスニング等習得した事柄を活用する機会を増やしたい。
2 年	すべての領域で大阪市平均よりも平均回答率が上回っており、2 年間の教科指導が功を奏した結果となった。また、英検 4 級レベル以上の割合が大阪市平均より 15% 以上上回り、英語力が身につけている結果となった。 今後も授業において、様々な言語活動を通して、さらに英語力の向上を図る。
1 年	すべての領域で大阪市平均よりも平均回答率が上回っているが、1 年足らずの学習の中で、文章を読むことにまだ慣れていないために、伸び悩んでいる状況であるが、話す・聞くについては練習の成果が出ている。 今後も授業において、様々な言語活動を通して、さらに英語力の向上を図る。